



学校だより

南の風

第 1 号

平成30年 4 月 9 日

大洗町立南中学校

はじめに

このたび大洗町立南中学校の校長として赴任してまいりました。寺門剛美(てらかどつよみ)です。お隣の第一中学校で教諭で5年間、教頭として2年間勤務させていただいておりました。同じ町内の中学生として、大会や町内の行事、公開授業などで南中学校の生徒のみなさんのようすを感じてきました。そして今、何事にも誠実に取り組んでいる生徒が集う南中学校に勤務できる喜びをかみしめております。引き続き、保護者の皆様の熱心なご協力と地域の方々の温かなご支援をよろしくお願いいたします。



平成30年度 第1学期 始業式式辞

2年生55名, 3年生48名, 進級おめでとうございます。

代表して2年生 小杉心奈さん, 3年生 山本真由佳さんに教科書を授与しました。今みなさんは、新しい気持ちで、平成30年度第1学期始業式に臨まれていることと思います。



ただいまは、生徒を代表して2名の生徒から抱負の発表がありました。2年生の春日音和さんからは、あいさつの大切さ、部活動での雰囲気づくりの大切さ、そして毎日の家庭学習の大切さについて発表があり、この経験を生かして2年生でもさらに努力したいという、すばらしい抱負の発表でした。3年生の大貫瑛輝さんからは、総合体育大会への思い、受験を意識した学習の進め方、そして最上級生としての心構えについて発表があり、この一年を充実した一年にしたいという、力強い抱負の発表でした。2名の代表生徒とその発表を真剣に聞いていた、ここにいる全員からは、2年生は中堅学年として、3年生は最上級生として南中を創っていくという意欲を感じました。春日さん、大貫さん、発表ありがとうございました。



さて、始業式を迎えるにあたり、宮沢章二さんという方の詩を紹介したいと思います。この詩はACジャパン(公共広告機構)でテレビでも放映されたことのある詩です。

心は見えないけれど 心遣いは見える
思いは見えないけれど 思いやりは見える
あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も初めて美しく生きる

あたたかい拍手で担任発表を聞く態度に拍手!



この歴史ある南中には、この詩にふさわしい三つの宝があると聞いています。

「時」…教科教室型で授業を行うために、次の人を意識して時間を大切に動いている。授業開始3分前に着席するという行動から「心遣い」が見えるようです。

「礼」…時と場に応じた言葉遣いとあいさつに心がけている。私も、南中に来てから何人もの生徒とあいさつを交わしました。その声の大きさや笑顔でのあいさつに、「あたたかさ」を感じました。

「美」…一人一人が黙働で清掃に励み、大切に校舎を使っている。「やさしさ」がなければ、できない行いです。ゴミが落ちていたら、黙って拾う。なんと美しい行いでしょ。いや、むしろカッコイイと思います。

今年、冬季オリンピックがピョンチャン(平昌)で開かれました。みなさんも、テレビなどで日本人の活躍を直に見ることができたことと思います。その中で多くの注目を集めた選手がいました。66年ぶりに大会連覇を果たした男子フィギュアスケート 羽生結弦選手、スピードスケート女子初の金メダルを獲得した小平奈緒選手、初の銅メダルを獲得した女子カーリングチーム。それぞれの演技や記録、技術に賞賛の声が向けられましたが、世界が注目したのは、次のようなことでした。競い合った選手へ感謝の声をかけた羽生選手、涙にくれる韓国選手の肩を抱いて相手選手を讃える小平選手、銅メダルを決めたイギリス選手のミスショットに喜ばず相手に握手を求めたカーリング女子のみなさん、すべては、心遣いや思いやりの行為でした。日本人の素晴らしさを世界に伝えた行為は、何よりかっこよく、そして感動的でした。

ここにいる南中の生徒のみなさんも、きっと周りの人に感動を与える生徒であると期待しています。感動は感謝を生みます。あちらこちらで、「ありがとう」が聞こえる、そんな南中にしていきましょう。ここにいる先生たちは、そんなみなさんを支える応援団です。生徒のみなさんと先生方が力を合わせて、世界に誇れる南中を創っていきましょう。